

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 本地工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町新都227番-147

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、社会の責任ある一員として、企業活動を通じ、人の健康の維持と地球環境の保護に積極的に寄与します。

2. 行動指針

- ① リサイクル・省資源・省エネルギーに積極的に取り組み、環境保護に努めます。
- ② 日々の活動において発生する廃棄物の最小化と汚染の予防に努めます。
- ③ 環境関連の法律、規則・協定および利害関係者の要求事項等について責任を持って順守します。
- ④ 環境マネジメントシステムを構築し、環境パフォーマンス向上のために、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- ⑤ この「環境方針」を周知するとともに、環境教育、広報活動を通じ地球環境問題に関する意識向上に努めます。
- ⑥ この「環境方針」を遂行するために環境目標を設定し、年度毎に見直しします。
- ⑦ この「環境方針」を一般に開示し、地域社会との共生を図ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成30年度	平成30年度
二酸化炭素	16,316	16,316

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 年度	令和 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 年度	令和 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO2						0
非エネルギー起源CO2						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
その他 温室効果ガス						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量		-				0
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

内製高(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和6年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	16,316	3,262	5.00	5.4	34,851	7,376	4.73
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	16,316	3,262	5.00	5.4	34,851	7,376	4.73
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	2.06	5.4	-	-	1.95
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を年平均1%以上の削減を行う。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力原単位の削減	電気原単位 3%削減	圧縮エア用コンプレッサの圧力変動対策と設定圧変更
2		↑	加工ライン、製品エアブロー圧の低圧化
3		↑	進相コンデンサーの適正運用と標準化
4	LNG原単位の削減	LNG原単位 4%削減	溶解炉バーナーのシーケンス制御 溶解炉、取鍋からの放熱対策 溶湯保持温度の見直し

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

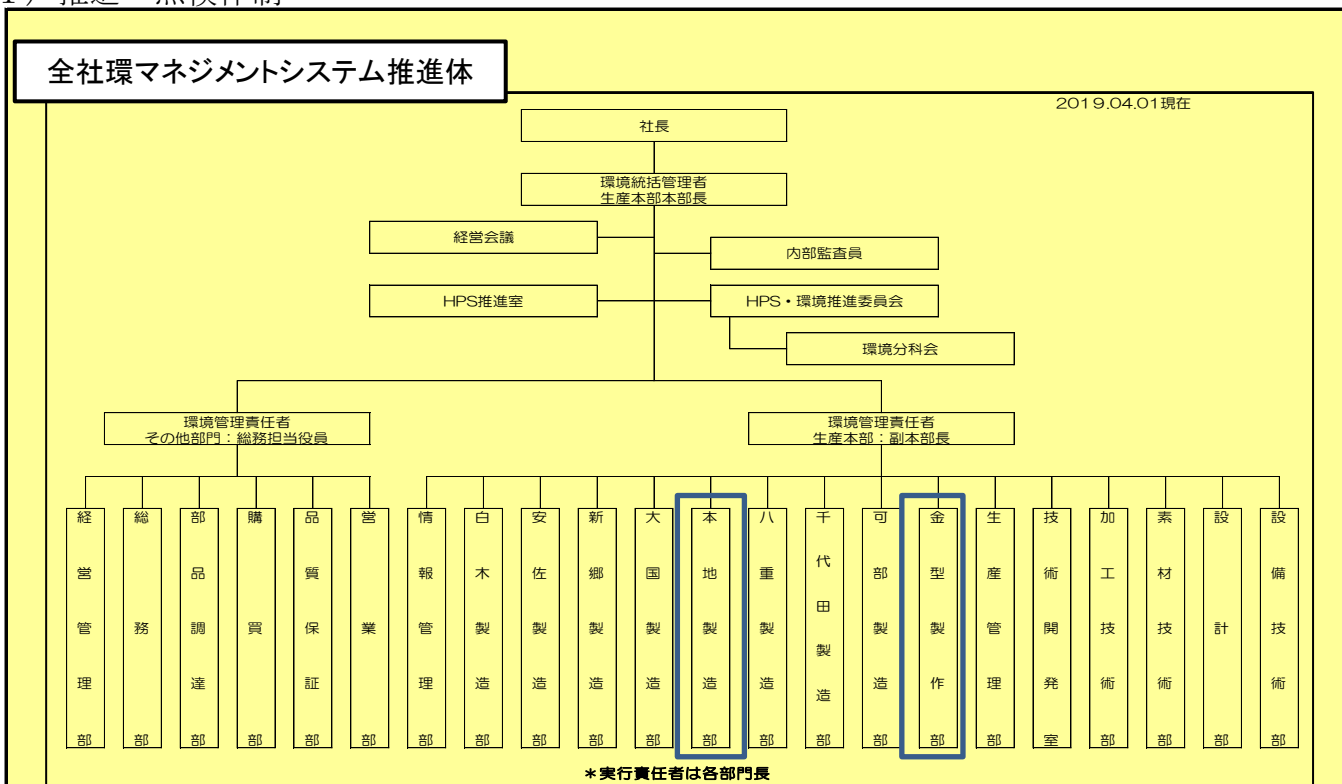
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー区分毎の低減活動	会社方針に基づき目標設定	各区分毎に1回/月の活動状況報告
2			
3			

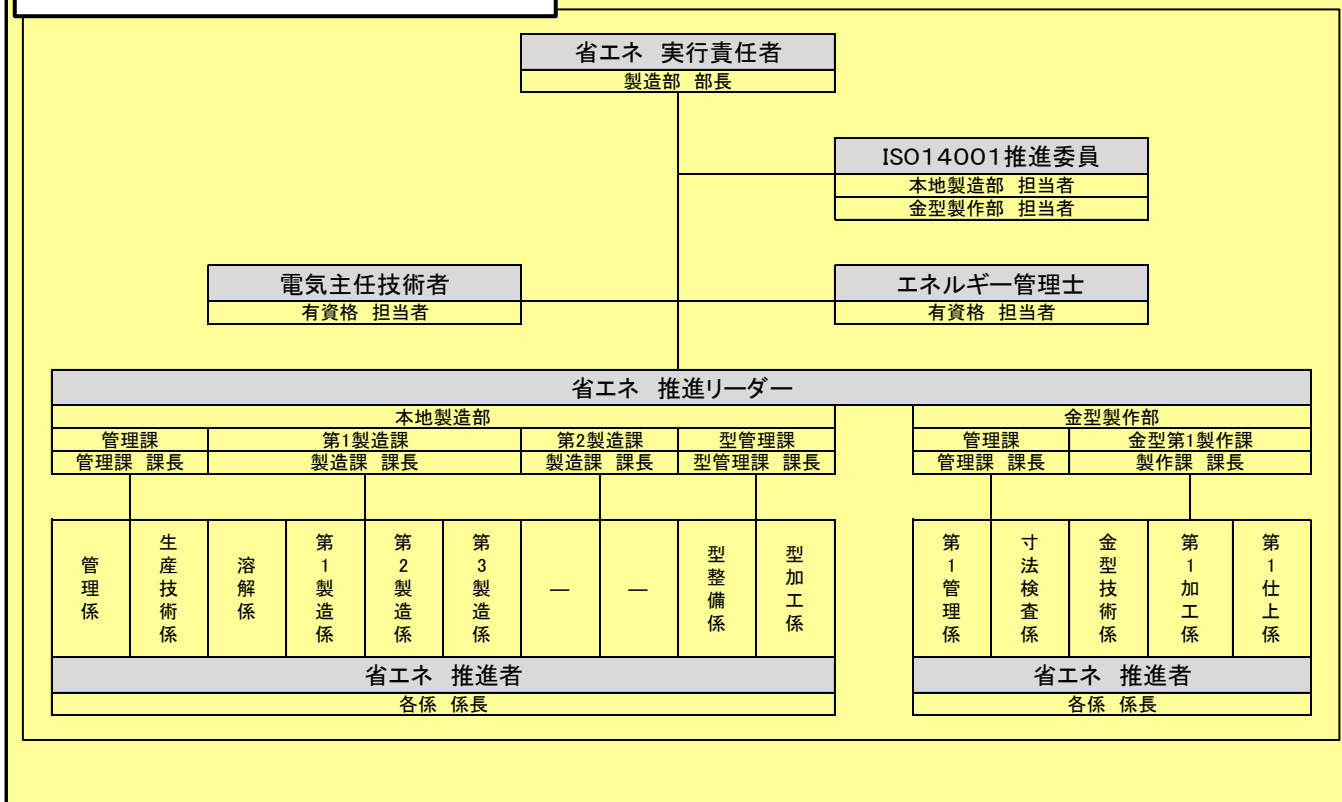
※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



本地サイトマネジメントシステム推進体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・年間計画の環境マネジメントプログラムをエネルギー毎に作成し各項目について
取り組み状況の確認と実施状況を毎月報告する、内容について実行責任者・推進リーダーより
アドバイスを受ける。
- ・2回/年の社内内部環境監査で活動状況のフォローをしている。

(3) 計画書等の公表

- ・事務所に掲示し閲覧する。
- ・全社の環境分科会で活動内容を公表する。